

弘前大学学報



弘前大学 クリスマスツリー

第 69 号
平成21年12月号

学内ニュース

- 学長の年末の挨拶 ----- 1
- 平成21年度弘前大学FD講演会の開催 ----- 4
- 弘前大学FDワークショップを開催 ----- 5
- 弘前大学創立60周年記念
弘前大学フィルハーモニー管弦楽団演奏会～八戸公演～を開催 ----- 6
- 青森市民病院と
「弘前大学専門医養成病院ネットワークに関する協定」を締結 ----- 7

諸会議 ----- 8**人事**

- 人事異動 ----- 10

主要日誌 ----- 11**学内規則** ----- 12

- 国立大学法人弘前大学契約職員就業規則の一部改正
- 国立大学法人弘前大学不動産管理規程の一部改
- 弘前大学大学院医学研究科規程の一部改正
- 弘前大学入学試験委員会規程の一部改正
- 弘前大学入学試験運営細則の一部改正
- 弘前大学組織評価実施要項（平成21年度実施分）の制定

訃報 ----- 13

平成21年 学長の年末の挨拶

平成21年12月28日
弘前大学長 遠藤 正彦

国立大学法人弘前大学の教職員・学生の皆さん、弘前大学史上特記すべき平成21年という輝かしい年の仕事納めの日であります。今年には国立大学法人化後の第1期中期目標・中期計画の最終年としての総括の年であり、第2期への確固たる基盤整備をなした年であり、また弘前大学が創立され満60年という区切りの年でもありました。その結果として、本年11月を中心に、インターネット上、全国の国公立大学約770校中の注目度ナンバーワンが本学であったということは、これまでの本学全構成員のすべての動きに対する評価であり勲章であると思っています。

この点を踏まえて、この平成21年を総括したいと思います。



【第1期中期目標期間中の本学を取り巻く状況】

平成16年4月、全国の国立大学は、一斉に国立大学法人化され、第1期中期目標・中期計画がスタートしました。国立大学法人化は、言うまでもなく、我弘前大学にとりまして、中央の大規模大学との大学間格差と、脆弱な産業基盤と過疎化の進む地域を立地とする地域間格差を背負っての、スタートでありました。それまで、護送船団方式で守られ、且つ資源に乏しい本学が、自立し他大学にない特徴を示すという目標を持って、国立大学法人化しての運営費交付金が年に1%ずつ減額され、科学研究費補助金を始めとする外部資金獲得が低迷し、また、加えて少子化による入学志願者の漸減を前に、国立大学法人化当初の体制を維持し続けるということが、精一杯であったと言わざるを得ませんでした。

しかも、この第1期中期目標期間中に新しく起こった問題として、我国の経済の悪化、特に地方経済の悪化が、本学の在学生や留学生の経済状況を直撃し、また国の総人件費抑制策である5年・5%の人件費の抑制があり、また私立大学の入学者定員割れの増悪による、国の経済財政諮問会議、教育再生会議等からの国立大学への激しい攻勢と、国立大学大学院の定員未充足への攻勢とがあり、国立大学、特に地方大学を取り巻く環境は、悪化の一途をたどっていました。

【第1期中期目標期間中の本学の対応と機能別分化】

本学の中期目標・中期計画が、本学構成員のボトムアップにより策定されたと言う自信を背景に、本学はその体制整備を進めておりましたが、第1期中期目標期間中に、突然沸き起こった第2期中期目標への各国立大学法人の“機能別分化”という国立大学相互の分別に対して、本学はこれに強烈な危機感をもって、第1期中期目標期間の後半は、本学の自立性を高めるための基盤整備に特に力を入れました。

これは、幸いなことに第1期中期目標の最終年に当たる平成21年は、弘前大学にとりまして創立60周年に当たることから、創立60周年記念事業の推進が、本学の基盤整備と、構成員及び同窓生との連帯感の強化を促すこととなりました。

第1期中期目標・中期計画の業務実績報告書に対しての、国立大学法人評価委員会の評価結果としては、本学において、大学院入学定員の充足率や、教職員の評価とその評価の給与等への反映について問題はありましたが、この期間中おおむね順調に経緯しているという評価を得るまでこぎつけました。

【弘前大学創立60周年記念事業と基盤整備】

弘前大学創立60周年記念事業は、弘前大学創立60周年記念事業後援会の後援と、弘前大学を支援する個人・団体の方々の御支援により、盛大に実施され、成功を収めました。本年6月6日の記念式典を中心に、60周年記念歌の制定、記念誌等の刊行、太宰治の文学碑の建立、“幸せのリング”と題したモニュメントの作製、国際交流における大学間協定校への名誉博士号の授与等がありました。これらの記念事業は、学生参加の形で進められたところに大きな特徴もありました。

そして、この創立60周年を記念して、産学官連携拠点ビル・“コラボ弘大”の建設、世界自然遺産白神の近くに“弘前大学白神自然観察園”の開設、“北日本新エネルギー研究センター”の青森市への設置と同所への“弘前大学青森キャンパス”の開設、我国初めての緊急被ばく医療を担う高度救命救急センターの建設開始等によって、本学の強固な基盤整備が急速に進みました。これらは、エネルギー、環境、緊急被ばく医療という他大学にはない教育・研究上の大きな柱となり、これは本学の著しい特徴であり、そして明確な機能分化であります。

一方、研究分野では、機器分析センターを中心に分析機器の数を増やし、分析機器が充実されてきました。これに伴って、理系の研究成果が上がりました。

附属図書館は、保存されていた資料の整理の中から、数々の重要資料が発見され、一方、電子図書館化は、一応の体制をととのえつつ、今では文系図書の実に努めています。

更に、弘前大学出版会は、有限責任中間法人大学出版部協会に加盟している数少ない地方国立大学の一つとして、極めて高い評価を得る出版事業を継続して、本学の教育研究のあり方を世に強くアピールするもの一つとなっております。

教育については、学外に学生の質を保証するとしている通り、学生の就職率はこの不況下にあっても尚高い率が望める状況であり、また学生の卒業論文等で学会賞を受けるという事例が増加しつつあり、更に課外活動においても対外試合で好成績を収める学生が増えてきました。

産学官連携・地域社会連携は、コラボ弘大を拠点として、いよいよ成功例の成立をめざして活動しております。

加えて、本学のキャンパスの環境整備も、90%に達するほどに進んでおり、キャンパスは狭隘ながらも、大学としての風格を示せるようになりました。こうしたことは、学外からは、正に驚異的であると云われています。

【第2期中期目標・中期計画の策定】

こうした状況は、国立大学法人化に呼応して進んでいる感じがします。私・学長個人としての考えですが、国立大学法人化以前に較べて、本学は様々な点で良い方向に向かっていると感じます。言うまでもなく、教職員の国立大学法人化したという意識に促されて努力してきた結果と思います。しかし、学内を見渡すと基盤整備は急速に進んでいるものの、国公立大学が挙げて評価と競争の中に立たされているという意識に乏しい一部の構成員のおられることは残念で、この是正はこれからの課題であります。

こうした状況の中で、本学は、第2期中期目標・中期計画を、全学の意見をボトムアップする方式で第2期中期目標・中期計画策定会議において策定しました。

しかし、第1期中期目標・中期計画の最終年に臨み、本学は冒頭に述べた劣勢を背負っていても、第2期中期目標・中期計画に向けた基盤整備が進み、国立大学の機能別分化の上で、他にはないエネルギー、環境、緊急被ばく医療という大きな柱が立ったことになりました。

【希望の持てる第2期中期目標・中期計画期間へ】

冒頭でも申し上げた通り、本年11月を中心に、本学がインターネット上注目度全国第一位だったことは、国立大学法人化して本学の立場を理解し努力された教職員学生の皆さんの努力の結果として、率直に喜び、皆さんに対して、学長として最大級の御礼を申し上げます。弘前大学を取り囲む環境は厳しいながらも、来年4月からは第2期中期目標期間が始まりますが、これまでの実績を足場にすると、第2期への大いなる希望が持てると確信致します。これまでの第1期中期目標期間、特にこの一年間の皆様の御苦勞に、心からの感謝を申し上げます。

皆さんも、御家族と共に希望を持って新年を迎えられますように、心から祈念致します。

平成21年12月28日

国立大学法人 弘前大学長
遠藤正彦

平成21年度弘前大学FD講演会の開催

本学は、創立50周年記念会館「みちのくホール」において、11月25日（水）に弘前大学FD講演会を開催しました。

本年度の講演会では、ラーニング・ポートフォリオ（学生が自らの学習実践記録を目に見える形で残し、学習過程を省察実践したもの）の世界的権威者であるアメリカのコロンビア・カレッジのジョン・ズビザレタ教授による基調講演及びアメリカPOD年次大会、イギリスSEDA年次大会、カナダSTLHE年次大会、オーストラリアHERDSA年次大会に参加した本学教員から諸外国のFD/ED活動状況の基調報告を受けることで、弘前大学版ティーチング・ポートフォリオ（大学教員が自分の授業実践や教育指導を目に見える形で、第三者に伝えるために記録「教育業績ファイル」）の「教育活動自己申告記録」による積極的な教育改善を図りました。

遠藤学長からの開会挨拶の後、コロンビア・カレッジFDセンター部長ジョン・ズビザレタ教授が「ラーニング・ポートフォリオを活用した学生の学習向上」と題して講演しました。続いて、21世紀教育センター高等教育研究開発室土持教授から「FDの歴史の変遷とカナダ、オーストラリアにおけるFDへの取組」、保健学研究科中野准教授から「第34回POD年次大会に参加して」、医学研究科鬼島教授から「14th Annual Staff and Educational Development Association(SEDA) Conference 2009」と題した基調報告がありました。

全体を通しての質疑応答では、参加者から具体的なFD/EDの活動等に関する質問が出されるなど、報告者の応答にも熱がこもりました。



挨拶する遠藤学長



講演するジョン・ズビザレタ教授

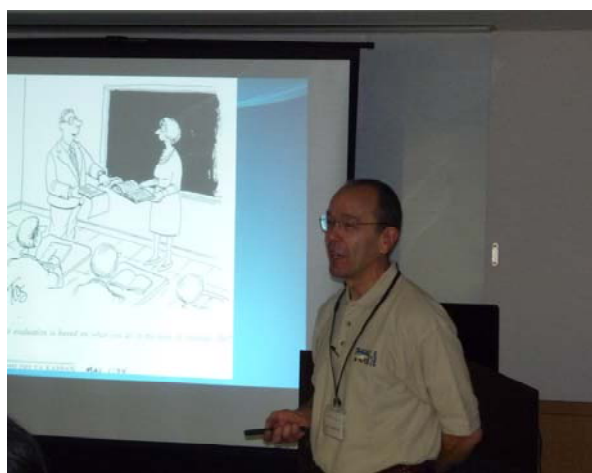
弘前大学FDワークショップを開催

本学は、11月28日（土）から29日（日）の1泊2日で、青森ロイヤルホテル（大鰐町）において、21世紀教育センターと教育・学生委員会の共催による第8回FDワークショップを開催しました。

今年度2回目のFDワークショップは、「ティーチング・ポートフォリオとメンターの役割」をテーマとして、ティーチング・ポートフォリオ（大学教員が自分の授業実践や教育指導を目に見える形で、第三者に伝えるための記録「教育業績ファイル」、以下「TP」という）の作成で重要となるメンターとメンターリングの役割について、各学部から推薦された2名の教員と他大学からの参加希望者をメンティ（メンターリングを受ける教員）とし、メンティが自らの授業実践を省察して、弘前大学版TP『教育者総覧』を作成及び見直しをするという内容でした。メンターには、カナダのダルハウジー大学でTPワークショップの認定証が授与された教員および昨年度本FDワークショップでメンターリングを受けた教員がなりました。

はじめに、ラーニング・ポートフォリオ（学生が自らの学習実践記録を目に見える形で残し、学習過程を省察実践したもの）の世界的権威者アメリカのコロンビア・カレッジFDセンター部長ジョン・ズビザレタ教授による「ティーチング・ポートフォリオとメンターの役割」と題した講演があり、その後はメンターとメンティが各グループにわかれてメンターリングを行いました。

全体会議では、ティーチング・フィロソフィー（授業哲学）が最初はなかなか活字として表現できなかったのが、メンターリングを通じ、次第に、自己省察や表現できるようになりました。また、メンターもメンティとのメンターリングを通して、自らの『教育者総覧』を見直す良い機会になったという意見も聞かれるなど期待以上の成果がありました。また、受講者からのアンケートでは、本ワークショップを継続的に実施し、弘前大学版TP（教育者総覧「教育活動自己評価申告記録」）の充実を図るべきだとの意見もあり、本ワークショップの目的は十分に果たすことができ、成功裡に終了することができました。



講演するジョン・ズビザレタ教授



メンターリング中のメンティとメンター

弘前大学創立60周年記念 弘前大学フィルハーモニー管弦楽団演奏会～八戸公演～を開催

弘前大学フィルハーモニー管弦楽団による演奏会が、去る12月6日（日）に八戸市公会堂において開催されました。

この演奏会は、本学が主催し、平成19年度は青森市で行いましたが、今年度は創立60周年記念演奏会として八戸市での開催となりました。

当日は、県南各地域からおおよそ400名の来場者があり、安達弘潮名誉教授の指揮で、V.S.カリニコフの交響曲第1番ト短調の他、計3曲が演奏され、来場者は弘前大学フィルハーモニー管弦楽団の若さ溢れるエネルギッシュな演奏に耳を傾けていました。

演奏会終了後、来場者からは「とても素晴らしい演奏でした」「また八戸で開催してほしい」など感謝の言葉が寄せられました。



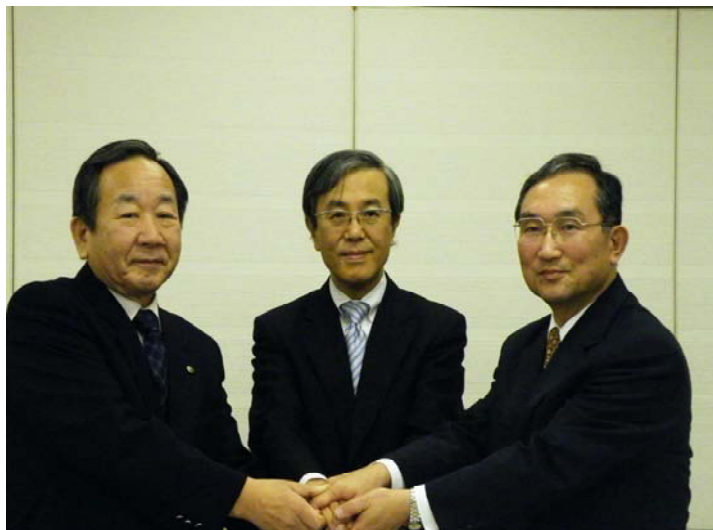
演奏する弘前大学フィルハーモニー管弦楽団

青森市民病院と 「弘前大学専門医養成病院ネットワークに関する協定」を締結

本学大学院医学研究科，医学部附属病院は，12月24日（木），青森市民病院と「弘前大学専門医養成病院ネットワークに関する協定」を締結しました。

協定の内容は，①医師免許取得後3年目以降の医師を対象とした専門研修の実施，②指導医レベルの中堅医師の確保，③医療面での積極的な連携の推進，④ネットワーク構成病院の機能を活用した専門医・認定医資格取得の促進，⑤専門医養成につながる卒前・卒後教育の推進等となっており，相互に連携・協力し，地域医療の充実に資することを目的としています。

なお，同日，協定締結式が青森市民病院において行われ，佐藤医学研究科長，花田医学部附属病院長と鈴木青森市民病院長が協定書に署名し，連携して医師養成に努めていくことが確認されました。



左から，鈴木青森市民病院長，佐藤医学研究科長，花田医学部附属病院長

■ 諸 会 議

▼役員会

12月7日（月）

審議事項

- 1 国立大学法人弘前大学契約職員就業規則の一部改正について
- 2 国立大学法人弘前大学不動産管理規程の一部改正について
- 3 国立大学法人弘前大学課長等選考実施要領の一部改正について
- 4 大連理工大学（中華人民共和国）との大学間交流協定の締結について
- 5 医学研究科における寄附講座の設置について

報告事項

- 1 要望事項等調査票の振り分けについて

12月14日（月）

審議事項

- 1 弘前大学大学院医学研究科規程の一部改正について
- 2 平成23年度入学者選抜方法及び実施教科・科目等（案）について
- 3 大連理工大学（中華人民共和国）との大学間交流協定の締結について
- 4 医学研究科における寄附講座の設置について
- 5 弘前大学北日本新エネルギー研究センターと北海道大学大学院農学研究院との研究協力に関する協定書の締結について
- 6 弘前大学北日本新エネルギー研究センターと大連理工大学能源研究院（中国）との研究協力に関する覚書の取交しについて

報告事項

- 1 平成21年度弘前大学若手研究者支援事業の選考結果について

12月21日（月）

審議事項

- 1 教員の矯正措置について
- 2 弘前大学組織評価実施要項（平成21年度実施分）（案）について

報告事項

- 1 平成21年度第2次補正予算について
- 2 平成21年度弘前大学大型プロジェクト研究者支援事業の採択について
- 3 平成22年度第2回弘前大学国際シンポジウム助成事業について
- 4 安全保障貿易管理について
- 5 放射性同位元素等の管理に関する外部評価の状況について
- 6 平成21年度内部監査の結果について

▼教育研究評議会

12月8日（火）

審議事項

- 1 弘前大学教育研究評議会調査委員会の設置について
 - 2 弘前大学大学院医学研究科規程の一部改正について
 - 3 平成23年度入学者選抜方法及び実施教科・科目等（案）について
 - 4 大連理工大学（中華人民共和国）との大学間交流協定の締結について
 - 5 医学研究科における寄附講座の設置について
 - 6 白神自然観察園教員の選考について
-

報告事項

- 1 弘前大学被ばく医療教育研究センター(仮称)設置準備委員会の設置について
- 2 平成22年度大学入試センター試験志願者の本学への割当数について
- 3 平成22年度科学研究費補助金申請状況について
- 4 平成22年度弘前大学特別研究員募集について
- 5 平成22年度弘前大学内地研究員派遣候補者の推薦について
- 6 平成22年度第2回弘前大学国際シンポジウム助成事業について
- 7 平成21年度弘前大学大型プロジェクト研究者支援事業の公募について
- 8 弘前大学北日本新エネルギー研究センターと東北大学金属材料研究所との研究協力に関する協定締結について
- 9 委員会報告
 - (1) 21世紀教育センター運営委員会
 - (2) 学士課程教育協議会
 - (3) 教育・学生委員会
 - (4) 入学試験委員会
 - (5) 研究・産学連携委員会

▼教育・学生委員会

12月24日(木)

審議事項

- 1 平成22年度総合文化祭日程について
- 2 弘前大学全学教員養成担当実施委員会申合せの改訂について
- 3 シラバス記載項目の追加について

報告事項

- 1 FDワークショップについて
- 2 平成21年度「公開授業・検討会」について
- 3 卒業生及び企業等アンケート結果について
- 4 平成21年度後期学期途中の学生による授業評価アンケート結果について
- 5 教育に対する意識調査アンケート結果について
- 6 平成21年度障害学生修学支援のための教職員研修会について
- 7 第6回学生生活実態調査実施要項について

▼21世紀教育センター運営委員会

12月17日(木)

審議事項

- 1 放送大学との単位互換に係る読替表について
- 2 平成21年度21世紀教育授業運営・担当評価について
- 3 高等教育研究開発室教員について

報告事項

- 1 センター長報告
 - (1) 運営会議
 - (2) 教育研究評議会
 - (3) 学士課程教育協議会
 - (4) その他
 - 2 専門委員会報告
 - (1) 教務専門委員会
 - (2) FD・広報専門委員会
 - (3) 点検・評価専門委員会
 - 3 各種委員会報告
 - (1) 教育学生委員会報告
 - 4 科目主任会報告
-

人 事 異 動

[採用]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成21年12月1日		須藤 晋一郎	助手(医) [平成24年3月31日まで]
平成21年12月1日		黒田 喜幸	助手(医) [平成24年3月31日まで]
平成21年12月16日		久保 貴子	一般職員(学・入)
平成21年12月16日		久本 善美	一般職員(教育)

[任用更新]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成21年12月11日	教諭(附幼)	桑田 妃奈子	教諭(附幼) [平成22年3月31日まで]

[配置換]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成21年12月1日	助教(医)	遠藤 哲	助教(病) [平成27年3月31日まで]

[育児休業]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成21年12月1日	看護師(病・看)	木村 充美	平成23年3月31日まで
平成21年12月6日	一般職員(総・総)	松永 久美	平成22年10月31日まで
平成21年12月8日	看護師(病・看)	今 美香	平成22年3月31日まで
平成21年12月9日	看護師(病・看)	藤森 薫	平成23年3月31日まで
平成21年12月11日	教諭(附幼)	長谷川 美智子	平成23年3月31日まで
平成21年12月19日	看護師(病・看)	對馬 和恵	平成22年9月30日まで
平成21年12月22日	看護師(病・看)	栗津 朱美	平成22年9月30日まで

[離職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
平成21年12月31日	助手(保)	千葉 貴子	辞職
平成21年12月31日	看護師(病・看)	井上 僚子	辞職
平成21年12月31日	看護師(病・看)	中畑 有香子	辞職
平成21年12月31日	看護師(病・看)	宮川 春菜	辞職
平成21年12月31日	看護師(病・看)	三木 明依	辞職

■ 主要日誌

- 12月 1日 公開授業検討会
入学者選抜選考委員会
- 2日 三八，上北，下北地域企業と弘前大学との就職懇談会
- 7日 総合文化祭推進・実施合同委員会
芸術祭実行委員会
役員会
- 8日 学士課程教育協議会
運営委員会
教育研究評議会
- 10日 60周年学生参加事業 弘前大学ジャズ研究会 Winter Concert
- 12日 60周年学生参加事業 弘前大学クラシックギタークラブ第36回定期演奏会
- 14日 役員会
平成22年度東北地区国立大学法人等就職セミナー
- 19日 60周年学生参加事業 邦楽愛好会クリスマスコンサート
- 21日 役員会
- 24日 入学試験委員会
DNC 管理・運営担当者会議
教育・学生委員会
- 25日 60周年学生参加事業 吹奏楽団第16回定期演奏会

■ 学内規則

(平成21年12月9日改正)

○国立大学法人弘前大学契約職員就業規則

3月31日における業務運営を円滑に行うため、この規則の一部を改正した。

○国立大学法人弘前大学不動産管理規程

学術情報部が管理する施設の管理部署等を定めるため、この規程の一部を改正した。

(平成21年12月16日改正)

○弘前大学大学院医学研究科規程

教育内容の拡充のため、この規程の一部を改正した。

(平成21年12月24日改正)

○弘前大学入学試験委員会規程

選抜選考委員会に新たに副委員長を置き、委員長に事故があるときの職務代理規定を整備するため、この規程の一部を改正した。

○弘前大学入学試験運営細則

新たに小論文点検委員を置き、個別学力検査小論文問題の点検体制を整備するため、この細則の一部を改正した。

(平成21年12月28日制定)

○弘前大学組織評価実施要項(平成21年度実施分)

訃報

本学元学長、名誉教授 東野 修治 氏には、12月13日（日）御逝去
されました。

享年 85歳

ここに、謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

弘前大学学報第69号

弘前大学総務部総務課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172) 36-2111